

成田法人会 会員の皆様へ

一般社団法人成田法人会
会 長 藤 崎 政 弘
総務委員長 小 幡 和 男

法人会年会費の見直し検討について

成田法人会会員の皆様におかれましては、日頃より法人会活動にご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本会は昭和 49 年 9 月に社団化され、年会費については過去 30 年改定せずにまいりました。この間、年会費を値上げせずに運営できましたのは、ひとえに会員皆様の本会へのご協力、さらには運営に対する歴代の役員の皆様と関係機関のご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

一方、社会全体では通信費や輸送コストの増大、人件費の増加や飲食料費の値上げなど諸物価の高騰が続いており、法人会の運営もその影響を大きく受けるなか、前期は 300 万円を超える赤字決算で終わりました。

経費については、印刷製本代 150 万円、会議費 137 万円、講演会費 129 万円、事務局運営費 124 万円 など前期比 500 万円以上の圧縮に努めましたが、自助努力だけではコストアップを吸収する事が厳しい状況になっております。

昨年度の経費圧縮を今年度も継続しますが、今年度予算は△146万円の赤字予算を組むに至っております。

できれば現在の年会費水準で持続的に活気のある会活動を進めていきたいと考えておりますが、こうした厳しい状況を勘案するなか、会では、4 月 22 日の第 1 回理事会、8 月 26 日の第 2 回理事会において、会員サービスを低下させない事を前提に、会の収支状況や今後の会費収入見込み、経費等の更なる削減を検討し、年会費の見直しについて審議を続けております。

今後も、支部役員会等での意見集約を進め、会の維持、発展のため適切な判断をしてまいりたいと存じます。

最後になりますが、年会費の見直しは定時総会での決議事項です。会員の皆様には、今後とも会の活動にご協力をお願い申し上げますとともに、本件につきましても何卒ご理解ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。